

# 平成28年度 予算の概要

- 一般会計予算  
540億1,130万1千円
- 特別会計予算  
国民健康保険事業  
194億2,530万5千円  
後期高齢者医療  
33億7,709万4千円  
介護保険事業  
123億6,617万円  
下水道事業  
42億3,518万6千円



## 妊産婦保健相談支援 (ゆりかご・ひがしむらやま) 事業

- 予算額 1,777万円
- 妊娠期から子育て期まで保健師や助産師が切れ目のない支援を行います。



## 本庁舎耐震補強等 改修事業

- 予算額 6億3,057万円
- 市役所本庁舎の耐震補強工事を28年度から30年度にかけて行います。



## 北山公園動植物 モニタリング調査委託

- 予算額 259万円
- 北山公園に生息する希少な動植物を調査し、保全対策を検討します。



## 都道128号東村山東大和線 (東村山第1号踏切) 整備受託事業

- 予算額 2,216万円
- 東村山駅北側の通称「大踏切」に進入する五差路を四差路に改良します。



## コミュニティバス 運行事業

- 予算 8,540万円
- 美住町・富士見町ルートの新規路線導入に向けた実証運行を実施します。



## 胃がんハイリスク 検査委託

- 予算額 380万円
- 胃の萎縮・ピロリ菌の感染状況等を検査し、胃がんの予防・早期発見を図ります。

## 予算の審査から 要旨

予算特別委員会で行われた主な質疑

### 一般会計

#### ●予算編成方針

**問** 行財政改革の効果により、基金など蓄えができたと考える。今こそ、各部署に十分な予算を配分する時期ではないか。

**答** 社会保障経費が、歳入の根幹である市税を大幅に上回るテンポで伸び続けているため、まだ十分とは言えない。引き続き行財政改革と総合計画を車の両輪とする行財政運営を進めていきたい。

**問** 「予算編成留意事項」に、社会保障経費等の義務的経費を含め経費全般にわたり、過去の経緯にとらわれずゼロベースで見直しを図り、とある。どのような考えか。

**答** 財源は限られており、歳出抑制が可能かどうか見直しの必要性を示した。その上で社会保障経費の抑制と市民の安心の確保の両立を目指すものである。

#### ●歳入

##### 個人市民税

**問** コンビニ納付の割合の見込みは。

**答** 利用は3万4,600件、全体の38%と試算した。

##### 民生費国庫補助金

**問** 生活保護適正化等事業の補助金が削減さ

れている理由は何か。

**答** 生活困窮者と生活保護受給者に対して、一体的に事業執行できるような補助金体系が見直され再編されたものである。

#### ●歳出

##### 都市マーケティング事業費

**問** シティプロモーションの推進として作成する「ウェルカムガイド」の配布方法は。

**答** 転居を考えている20代、30代の方に東村山を知っていただき住んでもらえるよう、モデルルームや不動産仲介事業者に置くことを想定している。

##### 本庁舎耐震補強等改修事業費

**問** 今後、庁舎の建て替えを含めた検討はどのように進めていくのか。

**答** 公共施設再生計画に基づき、本計画では、「本庁舎の建て替えに合わせ周辺施設との複合化や多機能化等を検討していく」としている。検討にあたっては、説明会開催など丁寧に進めていきたい。

##### 民生費全体

**問** 歳出全体に占める民生費の割合は53%である。多摩地域の他市と比べた場合、どのような特色があるか。

**答** 人口や産業構造が類似している多摩地域の10市で比べると、当市

は高い順から2番目だが、一般財源が占める割合では8番目である。新たな施策等により予算規模は増えているが、国や都からの補助金等を最大限に活用しながら一定の水準を維持している。

##### 高齢者施設整備事業費

**問** 地域包括ケア推進計画に基づく地域密着型サービス事業所整備の進捗状況と、開設までのスケジュールは。

**答** 27年9月から事業者の公募、選考を行い、12月に決定した。今後、着工・竣工となり、開設準備期間を経て28年度末に開設する予定である。

##### 妊産婦保健相談支援事業費

**問** 「育児支援パッケージ」の内容と活用方法は。

**答** おくるみ、よだれかけ、ハンカチの子育て用品をパッケージにして渡す予定である。数種類あるデザインから選択でき、楽しみや喜びの気持ちで赤ちゃんを迎える雰囲気づくりにも活用してもらえると考えている。

##### 胃・大腸がん検診事業費

**問** 胃がんハイリスク検査の対象者は。

**答** 28年度は対象者を50歳から74歳までとし、募集人数は500人である。自己負担額は1,000円で、生活保護受給者等については免除する予定である。

##### 樹林・樹木保護事業費

**問** 「公共の緑の植生管理のガイドライン」を市民に広く発信し、理解と協力を求めているが、見解は。

**答** 樹種に応じた剪定のための財源を確保し、民有地については市民に協力してもらえよう呼びかける必要があると考えている。

##### 子ども相談室運営経費

**問** 中学校における不登校生徒数と対応は。

**答** 28年1月末現在、市立中学校全体で1年生34人、2年生69人、3年生71人である。スクールソーシャルワーカーによる支援を重点的に行い、不登校児童・生徒の減少に努めていく。

##### 小中学校施設整備事業費

**問** 災害時の避難場所としても機能するように、体育館等への空調機の設置は急務である。今後検討していくのか。

**答** 都に対し設置に係る補助対象の拡充を要望しており、老朽化対策等との優先順位を考慮し、総合的に判断していく。

##### 図書整備事業費

**問** 市民1人当たりの資料費は254円である。少なくとも300円にすべき増額できないか。

**答** 図書の充実は少しずつでも目指していく必要があると考える。予算については29年度に向け努力していきたい。

